

2011年度

科目名	書論・鑑賞A			
担当教員	三木 麻子			
配当	日文3		コード	41028
開期	前期	講時	木曜日1限	単位数 2
授業テーマ	変体仮名に慣れ親しむとともに、書くことの意義を考え、さまざまな書を知る。			
目的と概要	古代の日本において「書」とは何かを考え、古筆のかずかずを鑑賞する。 書論・鑑賞Aでは主に平安時代の『古今和歌集』の写本について学ぶ。			
成績評価法	期末試験60% 授業内課題30% 受講態度10%			
テキスト	神戸平安文学会編「仮名手引」(和泉書院) その他、プリントを配布します。			
参考書	講義中に紹介します。			
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	「仮名手引き」は手持ちの類書でも可。 配布した資料は必ず予習(下読み)して出席すること。			
講義計画				
1、古代日本の書 2、仮名文字の種類 3、『古今和歌集』の写本について 4、高野切 (1) 5、高野切 (2) 6、高野切 (3) 7、高野切 (4) 8、関戸本 9、本阿弥切 10、元永本 (1) 11、元永本 (2) 12、筋切 13、三色紙 (1) 14、三色紙 (2) 15、まとめ				